

鹿児島県の風しん予防対策 令和4年(2022年)

鹿児島県の妊婦における抗体検査の調査事業

【目的】風しんのまん延防止等の対策強化及び予防接種勧奨の効果検証に資するため、妊婦における風しん抗体検査について調査を行う。

【対象医療機関】県内の産婦人科を標榜する全医療機関の中で協力の得られた機関

【対象者】平成17年2月1日以降に風しん抗体検査を実施した妊婦。風しん抗体価32倍以上は、平成18年(73.8%)、平成19年(73.4%)、平成20年(72.8%)、平成21年(69.7%)、平成22年(69.0%)、平成23年(68.0%)、平成24年(65.2%)、平成25年(63.1%)、平成26年(60.5%)、平成27年(58.9%)、平成28年(59.8%)、平成29年(58.9%)であった。平成30年以降は以下のとおり。

表 妊婦の抗体調査結果(平成30年～令和4年)

HI法(倍)	8倍未満	8倍	16倍	32倍以上	検査総件数(人)
LA法(IU/ml)	～7	8～15	16～31	32～	
平成30年累計(%)	839 (7.6)	1,377 (12.5)	2,499 (22.7)	6,288 (57.1)	11,003
令和元年累計(%)	735 (7.1)	1,270 (12.2)	2,429 (23.4)	5,968 (57.3)	10,402
令和2年累計(%)	776 (7.9)	1,475 (14.9)	2,429 (24.6)	5,189 (52.6)	9,869
令和3年累計(%)	700 (7.9)	1,424 (16.1)	2,307 (26.1)	4,414 (49.9)	8,845
令和4年累計(%)	643 (7.7)	1,303 (15.7)	2,278 (27.4)	4,079 (49.1)	8,303
総計(%)	3693 (7.6)	6849 (14.1)	11942 (24.7)	25938 (53.6)	48,422

○妊婦の風しん抗体保有状況

【保健所別：妊婦の風しん抗体保有状況(平成30年1月～令和4年12月)】

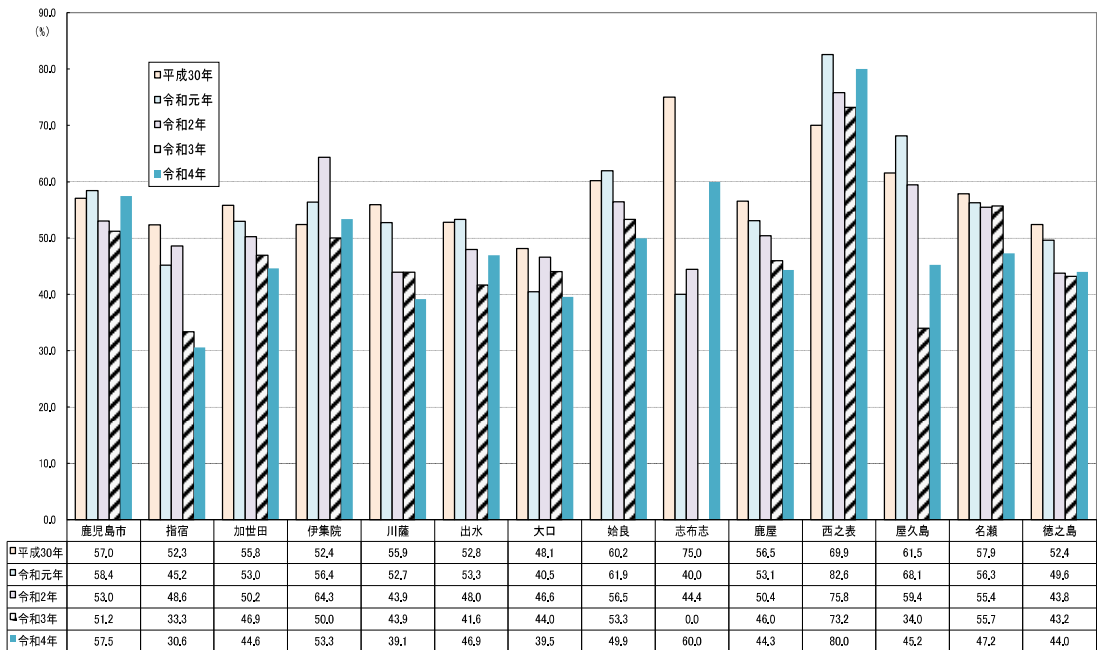


図 保健所別妊婦の風しん抗体保有状況(32倍以上)